

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人明治大学

(2) 大学名

明治大学

(3) 大学の位置

〒164-8525

東京都中野区中野4-21-1

(〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヒダカ ケンソウ) 日高 憲三 (平成24年4月1日)		
学長	(フクミヤ ケンイチ) 福宮 賢一 (平成24年4月1日)	(ツチヤ ケイイチロウ) 土屋 恵一郎 (平成28年4月1日)	任期満了に伴い 平成28年4月1日交代 (28)
学部長	(スナダ トシカズ) 砂田 利一 (平成25年4月1日)		
現象数理学科長	(マツヤマ ナオキ) 松山 直樹 (平成25年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
総合数理学部 現象数理学科 学士(理学)	4年	80人	- 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80 (-) [-]	-	1.24倍							
志願者数	1661 (-) [-]	- (-) [-]	1604 (-) [-]	- (-) [-]	1202 (-) [-]	- (-) [-]	1173 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	1511 (-) [-]	- (-) [-]	1469 (-) [-]	- (-) [-]	1101 (-) [-]	- (-) [-]	1051 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	366 (-) [-]	- (-) [-]	237 (-) [-]	- (-) [-]	222 (-) [-]	- (-) [-]	228 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	156 (-) [-]	- (-) [-]	77 (-) [-]	- (-) [-]	74 (-) [-]	- (-) [-]	89 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.95		0.96		0.93		1.11			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 156	[-] (-) —	[-] (-) 77	[-] (-) —	[-] (-) 74	[-] (-) —	[-] (1) 90	[-] (-) —	
2年次	/		[-] (-) 154	[-] (-) —	[-] (13) 90	[-] (-) —	[-] (14) 87	[-] () —	
3年次	/		/		[-] (-) 138	[-] (-) —	[-] (-) 75	[-] (-) —	
4年次	/		/		/		[-] (-) 138	[-] (-) —	
計	[-] (-) 156	[-] (-) —	[-] (-) 231	[-] (-) —	[-] (13) 302	[-] (-) —	[-] (15) 390	[-] (-) —	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<総合数理学部 現象数理学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合教育科目	English I A	1前	1									担当 兼6 兼4 兼2 担当者退任の理由による教員変更(28) [新規任用] 田中ちよ子(兼任)、 [新規担当] 東泉裕子(兼任) 担当者時間数調整の理由による教員追加・新規任用(27) 奥平文子(兼任)、 池田年穂(兼任) クラス増の理由により教員追加。新規任用(26) 担当] 友田路、 原田依子(兼任)	
	English I B	1後	1									担当 兼6 兼4 兼2 担当者退任の理由による教員変更(28) [新規任用] 田中ちよ子(兼任)、 [新規担当] 東泉裕子(兼任) 担当者時間数調整の理由による教員追加・新規任用(27) 奥平文子(兼任)、 池田年穂(兼任) クラス増の理由により教員追加。新規任用(26) 担当] 友田路、 原田依子(兼任)	
総合教育科目	English I C	1前	1									兼4 兼5 兼2 担当者時間数調整の理由による教員数変更(28) 担当者退任の理由による教員変更・新規任用(27) ゴッドフリー・チャド L(兼任) 担当者調整の理由により教員変更。新規任用(26) 担当] ロビン リック S. キーグ ムルン、 狩野 キロラインE、 プレトビッチ ロバート(兼任)	
	English I D	1後	1									兼4 兼5 兼2 担当者時間数調整の理由による教員数変更(28) 担当者退任の理由による教員変更・新規任用(27) ゴッドフリー・チャド L(兼任) 担当者調整の理由により教員変更。新規任用(26) 担当] ロビン リック S. キーグ ムルン、 狩野 キロラインE、 プレトビッチ ロバート(兼任)	
	English II A	2前	1									兼7 兼6 兼4 担当者時間数調整の理由による教員変更(28) [新規担当] 友田路(兼任)、 ゴッドフリー・チャド L(兼任) 担当者退任の理由による教員変更・新規任用(27) 東泉裕子(兼任) クラス増、 担当者調整の理由により教員変更。新規任用(26) 担当] 古賀友也、 永井那和、 丸ノス ハッセンジャー R(兼任)	
	English II B	2後	1									兼7 兼6 兼4 担当者時間数調整の理由による教員変更(28) [新規担当] 友田路(兼任)、 ゴッドフリー・チャド L(兼任) 担当者退任の理由により教員変更・新規任用(27) 東泉裕子(兼任) クラス増、 担当者調整の理由により教員変更。新規任用(26) 担当] 古賀友也、 永井那和、 丸ノス ハッセンジャー R(兼任)	
	English III A	3前	1									兼7 兼8 兼3 兼4 担当者退任およびクラス減の理由による教員変更・新規任用(28) 横本勝也(兼任) クラス増の理由による教員追加・新規任用(27) 東泉裕子(兼任)、 奥平文子(兼任)、 ハンディ7ルッ(兼任)、 [新規担当] 古賀友也(兼任)、 プレトビッチ ロバート(兼任) 担当者本務都合を理由とした担当者数変更(26)	
	English III B	3後	1									兼7 兼8 兼3 兼4 担当者退任およびクラス減の理由による教員変更・新規任用(28) 横本勝也(兼任) クラス増の理由により教員追加。新規任用(27) 東泉裕子(兼任)、 奥平文子(兼任)、 ハンディ7ルッ(兼任)、 [新規担当] 古賀友也(兼任)、 プレトビッチ ロバート(兼任) 担当者本務都合を理由とした担当者数変更(26)	
	English Test Preparation	2・3・4前			1								兼1
	科学哲学A	1・2・3・4前				2							兼1
	科学哲学B	1・2・3・4後				2							兼1
	哲学A	1・2・3・4前				2							兼1
哲学B	1・2・3・4後				2							兼1	
歴史学A	1・2・3・4前				2							兼1 設置計画時担当者の在外研究期間終了に伴う教員変更(28) [再担当] 白戸伸一 担当者在外研究の理由により教員変更。新規任用(26) 担当] 宜野座菜央見(兼任)	

専門 教育 科目	数理リテラシー	1前	2		0	2			クラス減の理由により担当者数変更(26) クラス増の理由により教員を追加(25) 担当] 小川知之(教授)	
	現象のモデリングとシミュレーション	2前	4		2 1 2				分担授業への変更を理由にした教員追加(28)[新 規担当]二宮広和(教授) クラス減の理由による教員数変更(27) クラス増の理由により教員を追加(26) 担当] 二宮広和(教授)	
	現象と数学	2前	2		6 5	4 5	2		兼3 兼1 オムニバス科目担当者調整の理由による教員追 加・新規任用(27)三村昌泰(兼担教授), 田野倉葉 子(兼担准教授) 2013年10月1日担当者昇格(上山大信教授)によ り担当者職務変更(26)	
	情報処理	1前	2		1	4			2013年10月1日担当者昇格により担当者職務変更 (26)	
	現象数理学実験	2前		2				2	担当者退任の理由による教員変更・新規任用 (28)[新規担当]井倉弓彦(講師) クラス増, カリキュラム充実のための教員増加の 理由により教員追加。新規任用(26) 担当]岩本 真裕子(講師)	
	実験データ解析演習	2後		2		1				
	応用プログラミング演習	2後			1					
	数学とメディア	2前		2		1			2013年10月1日担当者昇格により担当者職務変更 (26)	
	画像処理とフーリエ変換	2後		2			1			
	数理と可視化	2後		2			1			
	つながりの数理	2後		2		1				
	専門 教育 科目	最適化の数理	2後		2		1		1	担当者退任の理由による教員変更(28)[新規担当] 中村和幸(准教授) カリキュラム充実のための教員増加の理由により 教員変更。新規任用(26) 担当]渡邊広太(講師)
		現象数理A	3前		2		1		1	2013年10月1日担当者昇格により担当者職務変更 (26)
		現象数理B	3前		2				1	クラス増の理由による教員変更(27)[新規担当]中 村和幸(准教授)
応用複素関数		3前		2				1		
偏微分方程式とシミュレーション		3後		2				1		
微分方程式		2前		2				2	クラス減の理由による教員数変更(27) クラス増, カリキュラム充実のための教員増加の 理由により教員追加。新規任用(26) 担当]渡邊 広太(講師)	
微分方程式演習		2前		2				1	担当者退任の理由による教員変更(28)[新規担当] 物部治徳(兼任), 近藤信太郎(兼任) 担当者時間数調整による教員数変更(27) クラス増, カリキュラム充実のための教員増加の 理由により教員追加。新規任用(26) 担当]渡邊 広太(講師)	
電磁気とベクトル解析		2前		2				1		
数理統計学		2前		2		1				
金融経済分析		2後		2		1				
数理ファイナンス基礎		3後		2		1				
応用測度論		3後		2		1				
物理数学		3後		2		1				
数理生物学		3後		2			1			
確率過程		4前		2		0 1			兼1 顕著な実績を有する客員教員新規任用の理由によ る教員変更(28)[新規任用]楠岡成雄(客員教授)	
数理医学		4前		2		1			兼3 オムニバス科目充実の理由による教員追加・新規 任用(28)[新規担当]花岡昇平(兼任), 増谷佳孝 (兼任), 水藤寛(兼任)	
数学の方法		1後		2		1				
幾何		2前		2			1			
トポロジー		2前		2			1			
ベクトル空間		2前		2		0 1			兼1 新規任用の理由による教員変更・新規任用 (28)[新規担当]渡辺俊一(兼任) 担当者時間数調整による教員変更(27)[新規担当] 小川知之(教授)	
数学解析		2前		2			1			
代数	2前		2		0 1			兼1 クラス減および担当者時間数調整の理由による教 員変更(27)[新規担当]佐藤篤史(准教授) クラス増, 担当者調整の理由により教員追加(26) 担当] 蔵野和彦(兼担教授)		
現象と代数	2後		2		1					
複素関数	2後		2			1				
複素関数演習	2後		2			1				

創造数理 A	3前		2			1					
創造数理 B	3後		2			1	0				担当者時間数調整の理由による教員変更(27) [新規担当]砂田利一(教授)
実験数学教育	3前		2			0	1	0			カリキュラム充実の理由による新規任用および教員変更(27)佐藤一(准教授)
数学史	4前		2			1					
応用幾何	4後		2			1					
						6					担当者海外出張終了の理由による教員数変更(28)[再担当]砂田利一
						5					担当者海外出張の理由による教員数変更(27)
総合数理ゼミナール	1前	2				5	5	2			2013年10月1日担当者昇格(上山大信教授)により担当者職格変更(26)
現象数理研究 I	3前	2				6	4				2013年10月1日担当者昇格(上山大信教授)により担当者職格変更(26)
現象数理研究 II	3後	4				6	4				2013年10月1日担当者昇格(上山大信教授)により担当者職格変更(26)
現象数理研究 III	4前	4				5	5	2		兼1	担当教員移籍の理由による教員数変更(27) 2013年10月1日担当者昇格(上山大信教授)により担当者職格変更(26)
現象数理研究 IV	4後	4				6	4			兼1	担当教員移籍の理由による教員数変更(27) 2013年10月1日担当者昇格(上山大信教授)により担当者職格変更(26)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
31	80	0	111	31	80	0	111	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ **履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。**
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	0
設置時の計画の授業科目数の計	111		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地取得のため(26) (27)			
	校舎敷地	255,985㎡ 255,348㎡	0㎡	0㎡	255,985㎡ 255,348㎡				
	運動場用地	242,724㎡	0㎡	0㎡	242,724㎡				
	小 計	498,709㎡ 498,072㎡	0㎡	0㎡	498,709㎡ 498,072㎡				
	そ の 他	700,753㎡ 696,247㎡	0㎡	0㎡	700,753㎡ 696,247㎡				
	合 計	1,199,462㎡ 1,198,825㎡ 1,194,319㎡	0㎡	0㎡	1,199,462㎡ 1,198,825㎡ 1,194,319㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	改修のため(26) (27)			
		319,203㎡ 320,079㎡ 320,444㎡ (320,444㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	319,203㎡ 320,079㎡ 320,444㎡ (320,444㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	282室 276室 279室 283室	演 習 室 209室 199室 196室	実験実習室 450室 449室 432室	情報処理学習施設 30室 36室 33室 36室 183人 195人 191人 (補助職員194人)	語学学習施設 22室 26室 29室 (補助職員24人)	教室：新設及び用途変更 等のため(情報処理及び 語学学習施設は自習室を 含む)(26) (27) (28) 職員：配置変更のため (26) (27) (28) 大学全体		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		学科単位表記に修正のた め(27)			
	総合数理学部現象数理学科			14 44 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学共有分図書数 2,484,314 [871,679] 学術雑誌数 37,501 [13,224] 電子ジャーナル数 47,890 [43,784] 視聴覚資料は大学全体	
	総合数理学部	31,927[11,270] (12,927 [4,563])	52 [4] (52 [4])	0 [0] (0 [0])	40,310 (39,860)	80 (20)	0 (0)		
	計	31,927[11,270] (12,927 [4,563])	52 [4] (52 [4])	0 [0] (0 [0])	40,310 (39,860)	80 (20)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		改修のため(26) (27) (28) 大学全体 保存書庫含む		
	28,705㎡ 28,763㎡ 28,463㎡		3,440席 3,446席 3,449席 3,497席		2,744,566冊 2,741,965冊 2,762,048冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					改修のため(26) 体育館には駿河台スポー ツホール、中野多目的室含む	
	15,622.42㎡ 15,535.81㎡		バレーコート、テニスコート、ゴルフ練習場、プール等						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度		
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	3,640千円	3,920千円	図書購入費	6,270千円	4,263千円		14,992千円
		共同研究費等	65,411千円	70,441千円	設備購入費	98,000千円	29,479千円		108,062千円
	学生1人当り 納付金 (現象数理学科)	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,731千円	1,451千円	1,451千円	1,451千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金、資産運用の果実及び寄付金その他収入をもって維持運営する							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年4月)	届出のため該当なし。			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月)	総合数理学部現象数理学科、先端メディアサイエンス学科、ネットワークデザイン学科の入学定員超過の是正に努めること。	是正意見	<p>平成25年度一般入試(学部計募集定員194名)において、900名(現象数理学科345名、先端メディアサイエンス学科387名、ネットワークデザイン学科168名)を合格としたが、予定より多くの学生が入学したことが前年度の定員超過の要因であった(平成25年度入学者数学部計452名)。</p> <p>平成26年度一般入試(学部計募集定員196名)においては、合格者を637名(現象数理学科216名、先端メディアサイエンス学科250名、ネットワークデザイン学科161名)とした。</p> <p>これにより、他の特別入試と合わせて、平成26年度入学者数は合計で258名(現象数理学科77名、先端メディアサイエンス学科101名、ネットワークデザイン学科80名)となった。</p> <p>よって、各学科の設置後2年度間の平均入学定員超過率は、現象数理学科では、1.95 (平成25年度) + 0.96 (平成26年度) $\div 2 = 1.46$、先端メディアサイエンス学科では1.91 (平成25年度) + 1.01 (平成26年度) $\div 2 = 1.46$、ネットワークデザイン学科では1.31 (平成25年度) + 1.00 (平成26年度) $\div 2 = 1.16$、学部全体では1.74 (平成25年度) + 0.99 (平成26年度) $\div 2 = 1.37$ となった。</p>	前年度(平成25)入試は学部設置初年度の入試であったため、歩留まり状況の分からないことが、定員超過の主要な要因である。前年度及び今年度の歩留まりデータに基づき、平成27年度以降の入試においても合格者数を精査の上で決定し、複数年の計画の中で適正化していく。各学科の学生数を定員に基づいた適正数とし、教育の質の確保を図ることとする。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	総合数理学部現象数理学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見	平成27年度は、定員80名に対して74名が入学した。設置後3年間の入学定員超過率は 1.28 となり、緩和されている。	次年度以降も合格者数を精査の上で決定し、学生数の適正化を図る。

設置計画履行状況 調査時 （平成28年2月）	該当なし			
------------------------------	------	--	--	--

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（**実地調査や面接調査を実施した日ではありません。**）

7 その他全般的事項

<総合数理学部 現象数理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	設置計画変更該当する事項なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な教育支援体制に係る諸施策の立案及びその推進を通じて、組織的かつ継続的に教育内容及び教育技法の改善を行うことにより効果的な教育活動の実践を支援・促進することを目的として「教育開発・支援センター」を設置している。教育開発・支援センターの下には運営委員会が置かれており、センター長である教務部長をはじめ各学部及び大学院から推薦された専任教員を委員会の構成員としている。

学部内においては、教授会の下にカリキュラムや授業運営の課題改善や質の向上を目的として「教学委員会」を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

教育開発・支援センター及び教学委員会いずれも、審議事項に応じて定期的に委員会を開催している。教育開発・支援センターにおいては、研修会、講演会及びシンポジウムも実施している。両組織いずれも、大学の教育研究理念に基づき専任教員が主体となって組織を管理運営している。

c 委員会の審議事項等

「教育開発・支援センター」

- ・ 全学的な教育システムに係る基本方針の策定に関する事項
- ・ 教育内容及び教育技法の改善及び普及に関する事項
- ・ 全学的な教育効果に係る評価方法の開発及び実施に関する事項
- ・ 教員研修の推進に関する事項
- ・ 全学的な教育プログラム、教材及び学部間共通カリキュラムの開発に関する事項

「教学委員会」

- ・ 時間割編成、調整に関する事項
- ・ 履修成績に関する事項
- ・ 履修要件、卒業要件に関する事項
- ・ カリキュラムに関する全般事項
- ・ 資格課程に関する対応全般
- ・ FDに関する事項 その他

② 実施状況

a 実施内容

- ①学部共通科目担当者会議の開催
- ②新任教員のための研修会

b 実施方法

- ①学部共通科目担当者会議
学部共通科目である英語の担当者会議を定期的に開催した。
- ②新任教員のための研修会

2016年度任用の専任教員及び特任教員を対象に、本学の教員研修に対する取組への理解を深めるとともに自己啓発の意欲を高めることを目的として研修会を行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

①学部共通科目担当者会議

（英語科目）

専任教員による会議を月1～2回、兼任教員を含めた会議を年1回行い、英語科目を担当するほぼ全教員が参加した。

②新任教員のための研修会

教育理念、教員としての心構えなどについての理解を促すとともに、教育効果をあげるための研究及び工夫等の講演を行い、対象となる全教員が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

①学部共通科目担当者会議

授業進度及び教授法を共有することで授業改善取組への一助となっている。

②新任教員のための研修会

新任教員の教授歴はさまざまであることから、教育理念の共有をはかること及び授業改善に関する講演は必要かつ有効な取組である。授業改善への取り組み状況等具体的な成果、授業改善アンケート結果等を通じて検証を行う。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

2015年6月及び11月に授業改善のためのアンケートを実施。2016年も同様に実施予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

大学HPで公開予定

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

総合数理学部は、これまで明治大学において培われた数理学教育、情報科学教育の経験と実績をもとに、「社会に貢献する数理学の創造・展開・発信」「知識基盤社会の構築への貢献」「社会の持続的発展と文化・福祉の向上への寄与」をその目的として開設した。受験者数の推移等からは、学部の趣旨及び目的が広く社会に浸透・理解されたと評価できる。

2014年度には、学部内に中長期計画及び重点施策について検討を行う将来構想委員会を設置した。

設置の趣旨及び目的の達成状況の客観的評価は完成年度をもってなされるものであるが、今後も継続して学部の趣旨を社会に示し、設置計画に基づいた教育研究活動を通じて有為な人材の育成を目指すとともにその基盤を確かなものとする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年3月下旬 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成29年3月末を予定）
<http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/self/index.html>

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、平成27年3月に適合の認定を受けた。

<http://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=336&page=1#result1>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年 7月頃公表予定)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人明治大学

(2) 大学名

明治大学

(3) 大学の位置

〒164-8525

東京都中野区中野4-21-1

(〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヒダカ ケンソウ) 日高 憲三 (平成24年4月1日)		
学長	(フクミヤ ケンイチ) 福宮 賢一 (平成24年4月1日)	(ツチヤ ケイイチロウ) 土屋 恵一郎 (平成28年4月1日)	任期満了に伴い 平成28年4月1日交代 (28)
学部長	(スナダ トシカズ) 砂田 利一 (平成25年4月1日)		
先端メディアサイエンス学科長	(アラカワ カオル) 荒川 薫 (平成25年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
総合数理学部 先端メディアサイエンス学科 学士(理学)	4年	100人	- 年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100 (-) [-]	-	1.27倍							
志願者数	1953 (-) [-]	- (-) [-]	2110 (-) [-]	- (-) [-]	1804 (-) [-]	- (-) [-]	1434 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	1769 (-) [-]	- (-) [-]	1949 (-) [-]	- (-) [-]	1662 (-) [-]	- (-) [-]	1291 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	402 (-) [-]	- (-) [-]	278 (-) [-]	- (-) [-]	247 (-) [-]	- (-) [-]	263 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	191 (-) [-]	- (-) [-]	101 (-) [-]	- (-) [-]	96 (-) [-]	- (-) [-]	121 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.91		1.01		0.96		1.21			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[—] (—) 191	[—] (—) —	[—] (—) 101	[—] (—) —	[—] (—) 96	[—] (—) —	[—] (—) 121	[—] (—) —	
2年次	/		[—] (—) 190	[—] (—) —	[—] (7) 107	[—] (—) —	[—] (10) 105	[—] (—) —	
3年次	/		/		[—] (—) 182	[—] (—) —	[—] (—) 97	[—] (—) —	
4年次	/		/		/		[—] (—) 182	[—] (—) —	
計	[—] (—) 191	[—] (—) —	[—] (—) 291	[—] (—) —	[—] (7) 385	[—] (—) —	[—] (10) 505	[—] (—) —	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	191 人	2 人	平成25年度	1 人	0 人	進路再考(1人)	1.0 %
			平成26年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	101 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	他大学受験(1人)	1.0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	96 人	1 人	平成27年度	1 人	0 人	他大学受験(1人)	1.0 %
			平成28年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	121 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	509 人	4 人					0.8 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合数理学部 先端メディアサイエンス学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合教育科目	English I A	1前	1									担当者退任の理由による教員変更(28) [新規任用] 田中ちよ子(兼任)、[新規担当]東泉裕子(兼任) 担当者時間数調整の理由による教員追加・新規任用(27) 奥平文子(兼任)、池田年穂(兼任) 兼6 兼4 兼2 クラス増の理由により教員追加。新規任用(26) 担当] 友田路、原田依子(兼任)	
	English I B	1後	1									担当者退任の理由による教員変更(28) [新規任用] 田中ちよ子(兼任)、[新規担当]東泉裕子(兼任) 担当者時間数調整の理由による教員追加・新規任用(27) 奥平文子(兼任)、池田年穂(兼任) 兼6 兼4 兼2 クラス増の理由により教員追加。新規任用(26) 担当] 友田路、原田依子(兼任)	
総合教育科目	English I C	1前	1									兼4 担当者時間数調整の理由による教員数変更(28) 兼5 担当者退任の理由による教員変更・新規任用(27) ゴットフリート・チャド L(兼任) 兼2 担当者調整の理由により教員変更。新規任用(26) 担当] ロンコ リック S.ホーグ ムン、狩野 キロラインE.グビトビッチ ロバート(兼任)	
	English I D	1後	1									兼4 担当者時間数調整の理由による教員数変更(28) 兼5 担当者退任の理由による教員変更・新規任用(27) ゴットフリート・チャド L(兼任) 兼2 担当者調整の理由により教員変更。新規任用(26) 担当] ロンコ リック S.ホーグ ムン、狩野 キロラインE.グビトビッチ ロバート(兼任)	
	English II A	2前	1									兼7 担当者時間数調整の理由による教員変更(28) [新規担当]友田路(兼任)、ゴットフリート・チャド L(兼任) 兼6 担当者退任の理由による教員変更・新規任用(27) 東泉裕子(兼任) 兼4 クラス増、担当者調整の理由により教員変更。新規任用(26) 担当] 古賀友也、永井那和、ケランス バッセンジャー R(兼任)	
	English II B	2後	1									兼7 担当者時間数調整の理由による教員変更(28) [新規担当]友田路(兼任)、ゴットフリート・チャド L(兼任) 兼6 担当者退任の理由により教員変更・新規任用(27) 東泉裕子(兼任) 兼4 クラス増、担当者調整の理由により教員変更。新規任用(26) 担当] 古賀友也、永井那和、ケランス バッセンジャー R(兼任)	
	English III A	3前	1									兼7 担当者退任およびクラス減の理由による教員変更・新規任用(28) 榎本勝也(兼任) 兼8 クラス増の理由による教員追加・新規任用(27) 東泉裕子(兼任)、奥平文子(兼任)、ハンディ7ルップ(兼任)、[新規担当]古賀友也(兼任)、グビトビッチ ロバート(兼任) 兼3 兼4 担当者本務都合を理由とした担当者数変更(26)	
	English III B	3後	1									兼7 担当者退任およびクラス減の理由による教員変更・新規任用(28) 榎本勝也(兼任) 兼8 クラス増の理由により教員追加。新規任用(27) 東泉裕子(兼任)、奥平文子(兼任)、ハンディ7ルップ(兼任)、[新規担当]古賀友也(兼任)、グビトビッチ ロバート(兼任) 兼3 兼4 担当者本務都合を理由とした担当者数変更(26)	
	English Test Preparation	2・3・4前		1									兼1
	科学哲学A	1・2・3・4前			2								兼1
科学哲学B	1・2・3・4後			2								兼1	
哲学A	1・2・3・4前			2								兼1	
哲学B	1・2・3・4後			2								兼1	
歴史学A	1・2・3・4前			2								兼1 設置計画時担当者の在外研究期間終了に伴う教員変更(28) [再担当]白戸伸一 担当者在外研究の理由により教員変更。新規任用(26) 担当] 宜野産菜菜見(兼任)	

					0	5				兼10 オムニバス講義担当者調整の理由による教員変更(28)[新規担当]上山大信(兼担教授), 池田幸太(兼担講師), 中村聡史(准教授), 福地健太郎(准教授)[再担当]砂田利一(兼担教授), 乾孝治(兼担教授), 橋本直(准教授)
					3 2	2 1	0 2			兼9 オムニバス講義担当者調整の理由による教員変更(27)[新規担当]中村和幸(准教授), 佐藤篤史(准教授), 桂田祐史(准教授), 渡邊広太(講師), 岩本真裕子(講師), 小松孝徳(兼担准教授), 鈴木正明(兼担准教授), 浦野昌一(兼担准教授)
総合数理解論Ⅱ	1後	2				2	3			兼7 オムニバス講義内容の充実のための担当者調整の理由により教員変更(26)
					1					兼2 兼3 数学基礎科目の担当調整の理由による教員変更(28)[再担当]砂田利一(兼担教授)
微積分Ⅰ	1前	2				4	0			兼2 兼3 数学基礎科目の担当調整の理由による教員変更・追加(26)担当]砂田利一(兼担教授), 友枝明保(兼任)
					1		0			兼1 クラス増の理由により教員を追加(25)担当]木下修一(兼任)
微積分Ⅱ	1後	2				4				兼2 兼3 数学基礎科目の担当者調整の理由による教員変更(27)[新規担当]阿原一志(教授), 友枝明保(兼任)
					1					兼1 数学基礎科目の担当調整及びカリキュラム充実のための教員増加の理由により教員変更・追加(新規任用)(26)担当]松山直樹(兼担教授) 岩本真裕子(兼担講師) 近藤信太郎(兼任)
基礎微積分Ⅰ	1前	2			4					兼1 数学基礎科目の担当調整の理由による教員変更・新規任用(27)佐藤一(兼担准教授)
					1					兼1 数学基礎科目の担当調整の理由により教員変更(26)担当]阿原一志(教授)
基礎微積分Ⅱ	1後	2			4					兼1 担当教員退任の理由による教員変更・新規任用(28)井倉弓彦(兼担講師)
										兼1 数学基礎科目の担当調整の理由による教員変更・新規任用(27)岩本真裕子(兼担講師)
										兼1 数学基礎科目の担当調整の理由により教員変更(26)担当]阿原一志(教授)
基礎教育科目					4					兼4 兼2 クラス増および数学基礎科目の担当調整の理由による教員変更(27)[新規担当]池田幸太(講師), 小島居祐香(兼任)
微積分演習	1後	2				4				兼2 数学基礎科目の担当調整の理由により教員変更(26)担当]阿原一志(教授), 近藤信太郎, 友枝明保(兼担)
線形代数Ⅰ	1前	2				1				
線形代数Ⅱ	1後	2				1				
確率・統計	1後		2							兼1
					1 3		1			担当時間数調整の理由により教員変更・新規任用(27)[新規担当]橋本典久(講師)
プログラミング演習Ⅰ	1前	4				2	2			担当時間数調整の理由により担当者変更(26)担当]嵯峨山茂樹, 鹿喰善明, 小林稔(教授)の追加
						4	2			担当時間数調整の理由により担当者変更(25)担当]中村聡史(准教授)の追加
プログラミング演習Ⅱ	1後	4			1 3	4	0	2		担当者時間数調整の理由により教員変更・新規任用(27)[新規担当]橋本典久(講師)
						4	0	2		担当時間数調整の理由により担当者変更(26)担当]嵯峨山茂樹, 鹿喰善明, 小林稔(教授)の追加
論理とデジタル回路	2後		2							担当時間数調整の理由により担当者変更(25)担当]菊池浩明(教授), 中村聡史(准教授)の追加
技術・情報倫理	2後	2								クラス増, 担当者調整の理由により教員変更。新規任用(26)担当]野地保(兼任)
知的財産	2後		2							担当者退任による教員変更(27)[新規担当]佐々木康成(兼任)
物理学入門	1前		2							担当者退任による教員変更・新規任用(27)千旦和也(兼任)
										担当者退任による教員変更(28)[新規担当]近藤信太郎(兼任)
物理学Ⅰ	1後		2							カリキュラム充実のための教員増加の理由により教員変更。新規任用(26)担当]渡邊広太(兼担講師)
物理学Ⅱ	2前		2							カリキュラム充実のための教員増加の理由により教員変更。新規任用(26)担当]渡邊広太(兼担講師)
物理学Ⅲ	2後		2							担当者本務都合を理由とした担当者変更。新規任用(26)担当]鳥塚潔(兼任)
										担当者時間数調整の理由による教員変更・新規任用(27)森義仁(兼任)
化学入門	1後		2							カリキュラム充実のための教員増加の理由により教員変更(26)担当]岩本真裕子(兼担講師)

	生物学入門	2前		2									兼1	担当者時間数調整の理由による教員変更(27)[新規担当]三浦千明(兼任)	
専門教育科目														オムニバス科目充実の理由による教員追加および担当者職位変更(28) [新規担当]橋本典久(講師) [職位変更]渡邊恵太(准教授)平成28年4月昇格、橋本直(准教授)平成28年4月昇格	
														オムニバス講義担当者調整の理由による教員追加および担当者職位変更(27) [新規担当]鹿喰善明(教授) [職位変更]宮下芳明(教授)平成26年10月昇格	
		先端メディアサイエンス概論	1前	2		4	7	3						2013年10月1日担当者昇格(阿原一志教授)により担当者職格変更(26)	
		先端メディアサイエンス特別講義	1後		2	4	1	0						担当者退任による教員変更(28) [新規担当]荒川薫(教授)	
		コンテンツ・エンタテインメント概論	1後		2		1	0						顕著な実績を有する客員教員の任用を理由とした担当者変更(25) 担当]原島博(客員教授)	
		エンタテインメントプログラミング演習	1前	2			1	0						担当者職位変更(27) [職位変更]宮下芳明(教授)平成26年10月昇格	
		コンテンツ・メディアプログラミング実習Ⅰ	2前	2			3	1						担当者職位変更(28) [職位変更]橋本直(准教授)平成28年4月昇格	
		コンテンツ・メディアプログラミング実習Ⅱ	2後	2			2	2						担当者職位変更(27) [職位変更]宮下芳明(教授)平成26年10月昇格	
		コンテンツ・メディアプログラミング実習Ⅲ	3前	2			1	2						担当者時間数調整の理由による教員数変更(28) 担当者時間数調整の理由による教員変更(27)[新規担当]小林稔(教授)	
		基本情報技術Ⅰ	1後	2			1							2013年10月1日担当者昇格(阿原一志教授)により担当者職格変更(26)	
		基本情報技術Ⅱ	2前	2			1								
		基本情報技術Ⅲ	2後	2				1							
		基本情報技術Ⅳ	3前		2									兼1	
		アルゴリズム基礎	2前		2			1							
	コンピュータ基礎	2後		2		1									
専門教育科目	ユビキタスコンピューティング	3前		2			1								
	ウェブコンテンツ	3前		2			1								
	コンテンツ配信技術	3後		2		1									
							0								
	コンテンツ・エンタテインメント産業論	3後		2		4								顕著な実績を有する客員教員新規任用の理由による教員変更(27)[新規任用]松原健二(客員教授)	
	電気・電子回路基礎	2前		2		1									
	情報数理基礎	2前		2			1								
	システム数理基礎	2前		2			1							2013年10月1日担当者昇格により担当者職格変更(26)	
	信号解析基礎	2後		2		1									
	信号処理演習	2後		2		1									
							1								
	計算数理	3前		2			4							2013年10月1日担当者昇格により担当者職格変更(26)	
	計算幾何学	3後		2			1								
	音響・音声処理	3前		2		1									
	映像・画像処理	3後		2		1									
	コンピュータグラフィックス基礎	2後		2						1				担当者時間数調整の理由による教員変更(27)[新規担当]五十嵐悠紀	
	映像・アニメーション表現	3前		2			1								
								1							担当者職位変更(28) [職位変更]渡邊恵太(准教授)平成28年4月昇格
	インタラクションデザイン	3前		2											
	パターン認識と機械学習	3前		2		1									
								1							担当者職位変更(28) [職位変更]橋本直(准教授)平成28年4月昇格
	コンピュータビジョン	3後		2											
コンピュータミュージック	3後		2		1	0							担当者職位変更(27) [職位変更]宮下芳明(教授)平成26年10月昇格		
							1							担当者職位変更(28) [職位変更]橋本直(准教授)平成28年4月昇格	
バーチャルリアリティ	前 3後		2											教育効果考慮の理由により開講期変更(27)	
							1							担当者職位変更(28) [職位変更]渡邊恵太(准教授)平成28年4月昇格	
知覚心理学	3前		2												
認知科学	3後		2			1									
										1				担当者職位変更(27)[担当]橋本典久(講師)	
メディアアート・デザイン	4前		2											兼1	
ロボット・エージェント	4前		2				1								

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ **履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。**
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	0
設置時の計画の授業科目数の計	106		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地取得のため(26) (27)			
	校舎敷地	255,985㎡ 256,348㎡	0㎡	0㎡	255,985㎡ 256,348㎡				
	運動場用地	242,724㎡	0㎡	0㎡	242,724㎡				
	小 計	498,709㎡ 498,072㎡	0㎡	0㎡	498,709㎡ 498,072㎡				
	そ の 他	700,753㎡ 696,247㎡	0㎡	0㎡	700,753㎡ 696,247㎡				
	合 計	1,199,462㎡ 1,198,825㎡ 1,194,319㎡	0㎡	0㎡	1,199,462㎡ 1,198,825㎡ 1,194,319㎡				
(2) 校 舎	専 用	319,203㎡ 320,079㎡ 320,444㎡	0㎡	0㎡	319,203㎡ 320,079㎡ 320,444㎡	改修のため(26)(27)			
		(320,444㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(320,444㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	282室 276室 279室 283室	演 習 室 209室 203室 199室 196室	実験実習室 450室 449室 432室	情報処理学習施設 30室 36室 33室 36室 183人 195人 191人 (補助職員194人)	語学学習施設 22室 26室 28室 (補助職員24人)	教室：新設及び用途変更のため(情報処理及び語学学習施設は自習室を含む)(26)(27) (28) 職員：配置変更のため(26)(27)(28) 大学全体		
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 総合数理学部先端メディアサイエンス学科		室 数 16 44	室	学科単位表記に修正のため(27)		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学共有分図書数 2,484,314 [871,679] 学術雑誌数 37,501 [13,224] 電子ジャーナル数 47,890 [43,784] 視聴覚資料は大学全体	
	総合数理学部	31,927[11,270] (12,927 [4,563])	52 [4] (52 [4])	0 [0] (0 [0])	40,310 (39,860)	80 (20)	0 (0)		
	計	31,927[11,270] (12,927 [4,563])	52 [4] (52 [4])	0 [0] (0 [0])	40,310 (39,860)	80 (20)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	28,705㎡ 28,763㎡ 28,463㎡	閱 覧 座 席 数	3,440席 3,446席 3,449席 3,497席	収 納 可 能 冊 数	2,744,566冊 2,741,965冊 2,762,048冊	改修のため(26) (27)(28) 大学全体 保存書庫含む		
	(7) 体 育 館	面 積 15,622.42㎡ 15,535.81㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 バレーコート, テニスコート, ゴルフ練習場, プール等				改修のため(26) 体育館には駿河台スポーツ ホール, 中野多目的室含む		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度		
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	3,640千円	3,920千円	図書購入費	6,270千円	4,263千円		14,992千円
	共同研究費等	65,411千円	70,441千円	設備購入費	98,000千円	29,479千円	108,062千円		
	学生1人当り 納付金 (先端研17号(工学 科))	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,771千円	1,491千円	1,491千円	1,491千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金, 資産運用の果実及び寄付金その他収入をもって維持運営する							

- (注) ・ 設置時の計画を, 申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少, 建築計画の遅延)がある場合には, 「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年4月)	届出のため該当なし。		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月)	総合数理学部現象数理学科、先端メディアサイエンス学科、ネットワークデザイン学科の入学定員超過の是正に努めること。	是正意見	平成25年度一般入試(学部計募集定員194名)において、900名(現象数理学科345名、先端メディアサイエンス学科387名、ネットワークデザイン学科168名)を合格としたが、予定より多くの学生が入学したことが前年度の定員超過の要因であった(平成25年度入学者数学部計452名)。 平成26年度一般入試(学部計募集定員196名)においては、合格者を637名(現象数理学科216名、先端メディアサイエンス学科250名、ネットワークデザイン学科161名)とした。 これにより、他の特別入試と合わせて、平成26年度入学者数は合計で258名(現象数理学科77名、先端メディアサイエンス学科101名、ネットワークデザイン学科80名)となった。 よって、各学科の設置後2年度間の平均入学定員超過率は、現象数理学科では、 1.95 (平成25年度) + 0.96 (平成26年度) $\div 2 = 1.46$ 、先端メディアサイエンス学科では 1.91 (平成25年度) + 1.01 (平成26年度) $\div 2 = 1.46$ 、ネットワークデザイン学科では 1.31 (平成25年度) + 1.00 (平成26年度) $\div 2 = 1.16$ 、学部全体では 1.74 (平成25年度) + 0.99 (平成26年度) $\div 2 = 1.37$ となった。 前年度(平成25)入試は学部設置初年度の入試であったため、歩留まり状況の分からないことが、定員超過の主要な要因である。前年度及び今年度の歩留まりデータに基づき、平成27年度以降の入試においても合格者数を精査の上で決定し、複数年の計画の中で適正化していく。各学科の学生数を定員に基づいた適正数とし、教育の質の確保を図ることとする。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	総合数理学部先端メディアサイエンス学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見	平成27年度は、定員100名に対して96名が入学した。設置後3年間の入学定員超過率は 1.29 となり、緩和されている。 次年度以降も合格者数を精査の上で決定し、学生数の適正化を図る。

設置計画履行状況 調査時 (平成28年2月)	該当なし			
------------------------------	------	--	--	--

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（**実地調査や面接調査を実施した日ではありません。**）

7 その他全般的事項

<総合数理学部 先端メディアサイエンス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	設置計画変更該当する事項なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な教育支援体制に係る諸施策の立案及びその推進を通じて、組織的かつ継続的に教育内容及び教育技法の改善を行うことにより効果的な教育活動の実践を支援・促進することを目的として「教育開発・支援センター」を設置している。教育開発・支援センターの下には運営委員会が置かれており、センター長である教務部長をはじめ各学部及び大学院から推薦された専任教員を委員会の構成員としている。

学部内においては、教授会の下にカリキュラムや授業運営の課題改善や質の向上を目的として「教学委員会」を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

教育開発・支援センター及び教学委員会いずれも、審議事項に応じて定期的に委員会を開催している。教育開発・支援センターにおいては、研修会、講演会及びシンポジウムも実施している。両組織いずれも、大学の教育研究理念に基づき専任教員が主体となって組織を管理運営している。

c 委員会の審議事項等

「教育開発・支援センター」

- ・ 全学的な教育システムに係る基本方針の策定に関する事項
- ・ 教育内容及び教育技法の改善及び普及に関する事項
- ・ 全学的な教育効果に係る評価方法の開発及び実施に関する事項
- ・ 教員研修の推進に関する事項
- ・ 全学的な教育プログラム、教材及び学部間共通カリキュラムの開発に関する事項

「教学委員会」

- ・ 時間割編成、調整に関する事項
- ・ 履修成績に関する事項
- ・ 履修要件、卒業要件に関する事項
- ・ カリキュラムに関する全般事項
- ・ 資格課程に関する対応全般
- ・ FDに関する事項 その他

② 実施状況

a 実施内容

- ① 学部共通科目担当者会議の開催
- ② 新任教員のための研修会

b 実施方法

- ① 学部共通科目担当者会議
学部共通科目である英語の担当者会議を定期的に開催した。
- ② 新任教員のための研修会

2016年度任用の専任教員及び特任教員を対象に、本学の教員研修に対する取組への理解を深めるとともに自己啓発の意欲を高めることを目的として研修会を行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ① 学部共通科目担当者会議

（英語科目）

専任教員による会議を月1～2回、兼任教員を含めた会議を年1回行い、英語科目を担当するほぼ全教員が参加した。

②新任教員のための研修会

教育理念、教員としての心構えなどについての理解を促すとともに、教育効果をあげるための研究及び工夫等の講演を行い、対象となる全教員が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

①学部共通科目担当者会議

授業進度及び教授法を共有することで授業改善取組への一助となっている。

②新任教員のための研修会

新任教員の教授歴はさまざまであることから、教育理念の共有をはかること及び授業改善に関する講演は必要かつ有効な取組である。授業改善への取り組み状況等具体的な成果、授業改善アンケート結果等を通じて検証を行う。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

2015年6月及び11月に授業改善のためのアンケートを実施。2016年も同様に実施予定。

b 教員や学生への公開状況，方法等

大学HPで公開予定

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

総合数理学部は、これまで明治大学において培われた数理学教育、情報科学教育の経験と実績をもとに、「社会に貢献する数理学の創造・展開・発信」「知識基盤社会の構築への貢献」「社会の持続的発展と文化・福祉の向上への寄与」をその目的として開設した。受験者数の推移等からは、学部の趣旨及び目的が広く社会に浸透・理解されたと評価できる。

2014年度には、学部内に中長期計画及び重点施策について検討を行う将来構想委員会を設置した。

設置の趣旨及び目的の達成状況の客観的評価は完成年度をもってなされるものであるが、今後も継続して学部の趣旨を社会に示し、設置計画に基づいた教育研究活動を通じて有為な人材の育成を目指すとともにその基盤を確かなものとする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年3月下旬 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成29年3月末を予定）
<http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/self/index.html>

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、平成27年3月に適合の認定を受けた。

<http://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=336&page=1#result1>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年 7月頃公表予定)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人明治大学

(2) 大学名

明治大学

(3) 大学の位置

〒164-8525

東京都中野区中野4-21-1

(〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヒダカ ケンソウ) 日高 憲三 (平成24年4月1日)		
学長	(フクミヤ ケンイチ) 福宮 賢一 (平成24年4月1日)	(ツチヤ ケイイチロウ) 土屋 恵一郎 (平成28年4月1日)	任期満了に伴い 平成28年4月1日交代 (28)
学部長	(スナダ トシカズ) 砂田 利一 (平成25年4月1日)		
ネットワーク デザイン学科 長	(モリ ヒロユキ) 森 啓之 (平成25年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
総合数理学部 ネットワーク デザイン学科 学士(工学)	4年	80人	- 年次 人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80 (-) [-]	-	80 (-) [-]	-	80 (-) [-]	-	80 (-) [-]	-	1.10倍	
志願者数	681 (-) [-]	- (-) [-]	1007 (-) [-]	- (-) [-]	850 (-) [-]	- (-) [-]	811 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	612 (-) [-]	- (-) [-]	927 (-) [-]	- (-) [-]	751 (-) [-]	- (-) [-]	727 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	182 (-) [-]	- (-) [-]	179 (-) [-]	- (-) [-]	177 (-) [-]	- (-) [-]	210 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	105 (-) [-]	- (-) [-]	80 (-) [-]	- (-) [-]	67 (-) [-]	- (-) [-]	101 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.31		1.00		0.83		1.26			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] (-) 105	[-] (-) —	[0] (-) 80	[-] (-) —	[0] (-) 67	[-] (-) —	[0] (-) 101	[-] (-) —	
2年次	/		[0] (-) 104	[-] (-) —	[0] (8) 87	[-] (-) —	[0] (13) 78	[-] (-) —	
3年次	/		/		[0] (-) 95	[-] (-) —	[0] (1) 75	[-] (-) —	
4年次	/		/		/		[0] (-) 94	[-] (-) —	
計	[-] (-) 105	[-] (-) —	[-] (-) 184	[-] (-) —	[0] (8) 249	[-] (-) —	[0] (14) 348	[-] (-) —	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<総合数理学部 ネットワークデザイン学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	English I A	1前	1			1	1					担当者退任の理由による教員変更(28)【新規任用】田中ちよ子(兼任)、【新規担当】東泉裕子(兼任) 兼4 担当者時間数調整の理由による教員追加・新規任用(27)奥平文子(兼任)、池田年穂(兼任) 兼2 クラス増の理由により教員追加。新規任用(26)担当]友田路、原田依子(兼任)
												担当者退任の理由による教員変更(28)【新規任用】田中ちよ子(兼任)、【新規担当】東泉裕子(兼任) 兼4 担当者時間数調整の理由による教員追加・新規任用(27)奥平文子(兼任)、池田年穂(兼任)
	English I B	1後	1			1	1					兼2 クラス増の理由により教員追加。新規任用(26)担当]友田路、原田依子(兼任)

総合 教育 科目	English I C	1前	1							兼3 兼4 兼1	担当者時間数調整の理由による教員数変更(28) 担当者退任の理由による教員変更・新規任用(27) ゴッドフリー・チャド L(兼任) 担当者調整の理由により教員変更。新規任用(26) 担当] ロンコ リック S.ホーグ ムルン、狩野 キロイン E.ワ ビトコビッチ ロバート(兼任)	
	English I D	1後	1							兼3 兼4 兼1	担当者時間数調整の理由による教員数変更(28) 担当者退任の理由による教員変更・新規任用(27) ゴッドフリー・チャド L(兼任) 担当者調整の理由により教員変更。新規任用(26) 担当] ロンコ リック S.ホーグ ムルン、狩野 キロイン E.ワ ビトコビッチ ロバート(兼任)	
	English II A	2前	1			1	2			兼3	担当者時間数調整の理由による教員変更(28) [新規担当]友田路(兼任)、ゴッドフリー、チャド L(兼任) 担当者退任の理由による教員変更・新規任用(27) 東泉裕子(兼任) クラス増、担当者調整の理由により教員変更。新 規任用(26) 担当] 古賀友也、永井那和、ケラス パッセンジャー R(兼任)	
	English II B	2後	1			1	2			兼4 兼3	担当者時間数調整の理由による教員変更(28) [新規担当]友田路(兼任)、ゴッドフリー、チャド L(兼任) 担当者退任の理由による教員変更・新規任用(27) 東泉裕子(兼任) クラス増、担当者調整の理由により教員変更。新 規任用(26) 担当] 古賀友也、永井那和、ケラス パッセンジャー R(兼任)	
	English III A	3前	1			1	2			兼4 兼5 兼0 兼1	担当者退任およびクラス減の理由による教員変 更・新規任用(28)横本勝也(兼任) クラス増の理由による教員追加・新規任用(27)東 泉裕子(兼任)、奥平文子(兼任)、ハンディ7ルッ グ(兼任)、[新規担当]古賀友也(兼任)、ビトコビッチ ロバート(兼任)	
	English III B	3後	1			1	2			兼4 兼5 兼0 兼1	担当者退任およびクラス減の理由による教員変 更・新規任用(28)横本勝也(兼任) クラス増の理由により教員追加。新規任用(27)東 泉裕子(兼任)、奥平文子(兼任)、ハンディ7ルッ グ(兼任)、[新規担当]古賀友也(兼任)、ビトコビッチ ロバート(兼任)	
	English Test Preparation	2・3・4前		1			1					
	科学哲学A	1・2・3・4前		2							兼1	
	科学哲学B	1・2・3・4後		2							兼1	
	哲学A	1・2・3・4前		2							兼1	
	哲学B	1・2・3・4後		2							兼1	
	歴史学A	1・2・3・4前		2							兼1	設置計画時担当者の在外研究期間終了に伴う教員 変更(28)[再担当]白戸伸一 担当者在外研究の理由により教員変更。新規任用 (26) 担当]宜野産菜央見(兼任)
	歴史学B	1・2・3・4後		2							兼1	設置計画時担当者の在外研究期間終了に伴う教員 変更(28)[再担当]白戸伸一 担当者在外研究の理由により教員変更。新規任用 (26) 担当]宜野産菜央見(兼任)
	心理学A	1・2・3・4前		2							兼1	
	心理学B	1・2・3・4後		2							兼1	
	芸術史A	1・2・3・4前		2							兼1	担当者職位変更(27)[担当]橋本典久(兼担講師)
	芸術史B	1・2・3・4後		2							兼1	担当者職位変更(27)[担当]橋本典久(兼担講師)
	スポーツ・健康科学	1・2・3・4前		2							兼1	
	スポーツ実習A	1前		1							兼3 兼1	担当者退任の理由による教員変更・新規任用(27) 劉立凡(兼任) 種目調整及びクラス増の理由により教員変更・追 加(25) 担当] マックグラスケリー、羽鳥操、 渡邊新一郎(兼任)
	スポーツ実習B	1後		1							兼3 兼2 兼1	担当者退任の理由による教員変更・新規任用(27) 劉立凡(兼任) 種目調整及びクラス増の理由により教員変更。追 加。新規任用(26)担当] マックグラスケリー、酒 井利信(兼任) 種目調整及びクラス増の理由により教員変更・追 加(25) 担当] 羽鳥操、渡邊新一郎(兼任)
スポーツ実習C	2前		1							兼2 兼1	種目調整及びクラス増の理由により教員変更・追 加(26) 担当] マックグラスケリー、渡邊新一郎 (兼任)	

総合 教育 科目	スポーツ実習D	2後	1						兼2	種目調整及びクラス増の理由により教員変更・追加。新規任用(26) 担当] 渡邊新一郎、酒井利信(兼任)	
	スポーツ実習E	2前後	1						兼1		
	法学(日本国憲法)	1・2・3・4前後	2						兼1		
	社会学A	1・2・3・4前	2						兼1	担当教員の退任・新規任用の理由により教員変更。新規任用(26) 担当] 関口卓也(兼任)	
	社会学B	1・2・3・4後	2						兼1	担当教員の退任・新規任用の理由により教員変更。新規任用(26) 担当] 関口卓也(兼任)	
	経済学A	1・2・3・4前	2						兼1	担当者時間数調整の理由による教員変更・新規任用(27) 大塚忠義(兼任)	
	経済学B	1・2・3・4後	2						兼1	担当者退任の理由による教員変更(28) [新規担当] 松山直樹(兼任教授)	
	情報と職業	1・2・3・4前	2						兼1	カリキュラム充実のための教員増加の理由により教員変更。新規任用(26) 担当] 渡邊広太(兼任講師)	
	情報技術概論	前 1・2・3・4後	2						兼1	[職位変更] 渡邊恵太(兼任准教授) 平成28年4月昇格(28) 教育効果考慮の理由により開講期変更(25)	
	地理学A	1・2・3・4前	2						兼1		
	地理学B	1・2・3・4後	2						兼1		
	考古学A	1・2・3・4前	2						兼1	担当者退任の理由による教員変更・新規任用(27) 小高敬寛(兼任)	
	考古学B	1・2・3・4後	2						兼1	担当者退任の理由による教員変更・新規任用(27) 小高敬寛(兼任)	
	環境とエネルギー	1・2・3・4後	2	1							
	社会と数学	後 1・2・3・4前	2						兼1	教育効果考慮の理由により開講期変更(25)	
	調査と統計	前 1・2・3・4後	2						兼1	教育効果考慮の理由により開講期変更(25)	
	学部間共通総合講座	1・2・3・4前後	2	1					兼0	担当教員移籍の理由による教員数変更(27)	
	基礎 教育 科目	総合数理概論 I	1前	2		2	2			兼10	オムニバス講義担当者調整の理由による教員変更(28) [新規担当] 笠史郎(教授)、渡邊恵太(兼任准教授)、五十嵐悠紀(兼任講師)
		総合数理概論 II	1後	2		3	4	1		兼7	オムニバス講義担当者調整の理由による教員変更(27) [新規担当] 荒川薫(兼任教授)、嵯峨山茂樹(兼任教授)
微積分 I		1前	2			2			兼10	オムニバス講義内容の充実のための担当者調整の理由により教員変更(26)	
微積分 II		1後	2			2			兼3	オムニバス講義担当者調整の理由による教員変更(28) [新規担当] 上山大信(兼任教授)、池田幸大(兼任講師)、中村聡史(兼任准教授)、福地健太郎(兼任准教授) [再担当] 砂田利一(兼任教授)、乾孝治(兼任教授)、橋本直(兼任准教授)	
基礎微積分 I		1前	2						兼3	オムニバス講義担当者調整の理由による教員変更(27) [新規担当] 浦野昌一(准教授)、中村和幸(兼任准教授)、佐藤篤史(兼任准教授)、桂田祐史(兼任准教授)、渡邊広太(兼任講師)、岩本真裕子(兼任講師)、小松孝徳(兼任准教授)、鈴木正明(兼任准教授)	
									兼2	数学基礎科目の担当調整の理由による教員変更(28) [再担当] 砂田利一(兼任教授)	
								兼3	数学基礎科目の担当調整の理由による教員変更(27) [新規担当] 乾孝治(兼任教授)、阿原一志(兼任教授)		
								兼2	数学基礎科目の担当調整の理由により教員変更・追加(26) 担当] 砂田利一(兼任教授)、友枝明保(兼任)		
								兼3	クラス増の理由により教員を追加(25) 担当] 木下修一(兼任)		
								兼2	数学基礎科目の担当調整の理由による教員変更(27) [新規担当] 阿原一志(兼任教授)、友枝明保(兼任)		
								兼2	数学基礎科目の担当調整及びカリキュラム充実のための教員増加の理由により教員変更・追加(26) 担当] 松山直樹(兼任教授) 岩本真裕子(兼任講師) 近藤信太郎(兼任)		
								兼1	数学基礎科目の担当調整の理由による教員変更・新規任用(27) 佐藤一(兼任准教授)		
								兼1	数学基礎科目の担当調整の理由により教員変更(26) 担当] 阿原一志(兼任教授)		

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ **履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。**
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{109} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地取得のため (26) (27)			
	校舎敷地	255,985㎡ 256,348㎡	0㎡	0㎡	255,985㎡ 256,348㎡				
	運動場用地	242,724㎡	0㎡	0㎡	242,724㎡				
	小 計	498,709㎡ 498,072㎡	0㎡	0㎡	498,709㎡ 498,072㎡				
	そ の 他	700,753㎡ 696,247㎡	0㎡	0㎡	700,753㎡ 696,247㎡				
	合 計	1,199,462㎡ 1,198,825㎡ 1,194,319㎡	0㎡	0㎡	1,199,462㎡ 1,198,825㎡ 1,194,319㎡				
(2) 校 舎	専 用	319,203㎡ 320,079㎡ 320,444㎡	0㎡	0㎡	319,203㎡ 320,079㎡ 320,444㎡	改修のため (26) (27)			
		(320,444㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(320,444㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	282室 276室 279室 283室	演 習 室 209室 199室 196室	実験実習室 450室 449室 432室	情報処理学習施設 30室 36室 33室 36室 183人 195人 191人 (補助職員194人)	語学学習施設 22室 26室 29室 (補助職員24人)	教室：新設及び用途変更 等のため (情報処理及び 語学学習施設は自習室を 含む) (26) (27) (28) 職員：配置変更のため (26) (27) (28) 大学全体		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			学科単位表記に修正の ため (27)			
	総合数理学部ネットワークデザイン学科		14 44 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学共有分図書数 2,484,314 [871,679] 学術雑誌数 37,501 [13,224] 電子ジャーナル数 47,890 [43,784] 視聴覚資料は大学全体	
	総合数理学部	31,927[11,270] (12,927 [4,563])	52 [4] (52 [4])	0 [0] (0 [0])	40,310 (39,860)	80 (20)	0 (0)		
	計	31,927[11,270] (12,927 [4,563])	52 [4] (52 [4])	0 [0] (0 [0])	40,310 (39,860)	80 (20)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		改修のため (26) (27) (28) 大学全体 保存書庫含む			
		28,705㎡ 28,763㎡ 28,463㎡	3,440席 3,446席 3,449席 3,497席	2,744,566冊 2,741,965冊 2,762,048冊					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					改修のため (26) 体育館には駿河台スポーツ ホール、中野多目的室含む		
		15,622.42㎡ 15,535.81㎡	バレーコート、テニスコート、ゴルフ練習場、プール等						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度		
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	3,640千円	3,920千円	図書購入費	6,270千円	4,263千円		14,992千円
		共同研究費等	65,411千円	70,441千円	設備購入費	98,000千円	29,479千円		108,062千円
	学生1人当り 納付金 (ネットワークデザイン学 科)	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,771千円	1,491千円	1,491千円	1,491千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金、資産運用の果実及び寄付金その他収入をもって維持運営する							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年4月)	届出のため該当なし。			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月)	総合数理学部現象数理学科，先端メディアサイエンス学科，ネットワークデザイン学科の入学定員超過の是正に努めること。	是正意見	<p>平成25年度一般入試(学部計募集定員194名)において、900名(現象数理学科345名、先端メディアサイエンス学科387名、ネットワークデザイン学科168名)を合格としたが、予定より多くの学生が入学したことが前年度の定員超過の要因であった(平成25年度入学者数学部計452名)。</p> <p>平成26年度一般入試(学部計募集定員196名)においては、合格者を637名(現象数理学科216名、先端メディアサイエンス学科250名、ネットワークデザイン学科161名)とした。</p> <p>これにより、他の特別入試と合わせて、平成26年度入学者数は合計で258名(現象数理学科77名、先端メディアサイエンス学科101名、ネットワークデザイン学科80名)となった。</p> <p>よって、各学科の設置後2年度間の平均入学定員超過率は、現象数理学科では、1.95(平成25年度) + 0.96(平成26年度) ÷ 2 = 1.46、先端メディアサイエンス学科では1.91(平成25年度) + 1.01(平成26年度) ÷ 2 = 1.46、ネットワークデザイン学科では1.31(平成25年度) + 1.00(平成26年度) ÷ 2 = 1.16、学部全体では1.74(平成25年度) + 0.99(平成26年度) ÷ 2 = 1.37となった。</p>	前年度(平成25)入試は学部設置初年度の入試であったため、歩留まり状況の分からないことが、定員超過の主要な要因である。前年度及び今年度の歩留まりデータに基づき、平成27年度以降の入試においても合格者数を精査の上で決定し、複数年の計画の中で適正化していく。各学科の学生数を定員に基づいた適正数とし、教育の質の確保を図ることとする。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	該当なし			

設置計画履行状況 調査時 (平成28年2月)	該当なし			
------------------------------	------	--	--	--

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（**実地調査や面接調査を実施した日ではありません。**）

7 その他全般的事項

<総合数理学部 ネットワークデザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	設置計画変更該当する事項なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な教育支援体制に係る諸施策の立案及びその推進を通じて、組織的かつ継続的に教育内容及び教育技法の改善を行うことにより効果的な教育活動の実践を支援・促進することを目的として「教育開発・支援センター」を設置している。教育開発・支援センターの下には運営委員会が置かれており、センター長である教務部長をはじめ各学部及び大学院から推薦された専任教員を委員会の構成員としている。

学部内においては、教授会の下にカリキュラムや授業運営の課題改善や質の向上を目的として「教学委員会」を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

教育開発・支援センター及び教学委員会いずれも、審議事項に応じて定期的に委員会を開催している。教育開発・支援センターにおいては、研修会、講演会及びシンポジウムも実施している。両組織いずれも、大学の教育研究理念に基づき専任教員が主体となって組織を管理運営している。

c 委員会の審議事項等

「教育開発・支援センター」

- ・全学的な教育システムに係る基本方針の策定に関する事項
- ・教育内容及び教育技法の改善及び普及に関する事項
- ・全学的な教育効果に係る評価方法の開発及び実施に関する事項
- ・教員研修の推進に関する事項
- ・全学的な教育プログラム、教材及び学部間共通カリキュラムの開発に関する事項

「教学委員会」

- ・時間割編成、調整に関する事項
- ・履修成績に関する事項
- ・履修要件、卒業要件に関する事項
- ・カリキュラムに関する全般事項
- ・資格課程に関する対応全般
- ・FDに関する事項 その他

② 実施状況

a 実施内容

①学部共通科目担当者会議の開催

②新任教員のための研修会

b 実施方法

①学部共通科目担当者会議

学部共通科目である英語の担当者会議を定期的に開催した。

②新任教員のための研修会

2016年度任用の専任教員及び特任教員を対象に、本学の教員研修に対する取組への理解を深めるとともに自己啓発の意欲を高めることを目的として研修会を行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

①学部共通科目担当者会議

(英語科目)

専任教員による会議を月1~2回、兼任教員を含めた会議を年1回行い、英語科目を担当するほぼ全教員が参加した。

②新任教員のための研修会

教育理念、教員としての心構えなどについての理解を促すとともに、教育効果をあげるための研究及び工夫等の講演を行い、対象となる全教員が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

①学部共通科目担当者会議

授業進度及び教授法を共有することで授業改善取組への一助となっている。

②新任教員のための研修会

新任教員の教授歴はさまざまであることから、教育理念の共有をはかること及び授業改善に関する講演は必要かつ有効な取組である。授業改善への取り組み状況等具体的な成果、授業改善アンケート結果等を通じて検証を行う。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

2015年6月及び11月に授業改善のためのアンケートを実施。2016年も同様に実施予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

大学HPで公開予定

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

総合数理学部は、これまで明治大学において培われた数理科学教育、情報科学教育の経験と実績をもとに、「社会に貢献する数理科学の創造・展開・発信」「知識基盤社会の構築への貢献」「社会の持続的発展と文化・福祉の向上への寄与」をその目的として開設した。受験者数の推移等からは、学部の趣旨及び目的が広く社会に浸透・理解されたと評価できる。

2014年度には、学部内に中長期計画及び重点施策について検討を行う将来構想委員会を設置した。

設置の趣旨及び目的の達成状況の客観的評価は完成年度をもってなされるものであるが、今後も継続して学部の趣旨を社会に示し、設置計画に基づいた教育研究活動を通じて有為な人材の育成を目指すとともにその基盤を確かなものとする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年3月下旬 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成29年3月末を予定）
<http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/self/index.html>

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、平成27年3月に適合の認定を受けた。
<http://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=336&page=1#result1>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年 7月頃公表予定)